

建築基準法で定められた道路

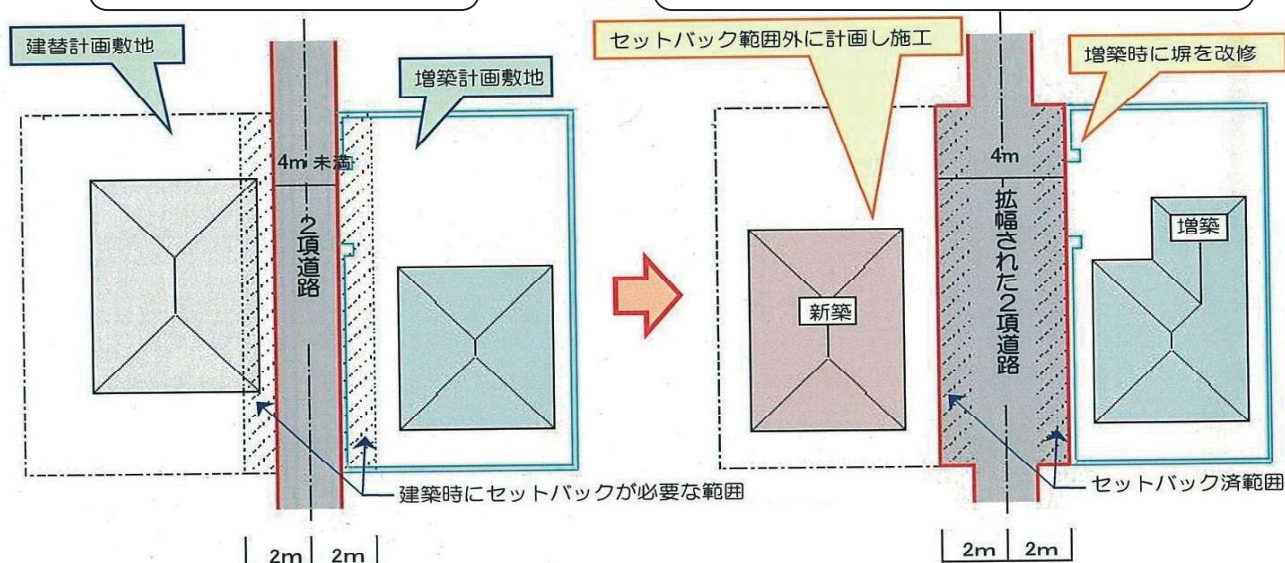
道路の種類	概要
① 法第42条第1項第1号道路	国道、県道、市道等で幅員4m以上の道路
② 法第42条第1項第2号道路	都市計画法に基づく宅地開発行為等により整備された道路
③ 法第42条第1項第3号道路	都市計画区域が適用された際に、既に幅員4m以上の道路として存在する道
④ 法第42条第1項第4号道路	道路法、都市計画法により事業計画のある道路で、2年以内に整備が予定され、特定行政庁である千葉県が指定した道路
⑤ 法第42条第1項第5号道路	土地を建築物の敷地として利用されるために築造する道路で、特定行政庁である千葉県からその位置の指定を受けた道路（位置指定道路）
⑥ 法第42条第2項道路	都市計画区域が適用された際、既に建築物が立ち並んでいた道路で、特定行政庁（千葉県）が指定した4m未満1.8m以上の道路



建物を建てる敷地が、上の表の①～⑥までの道路に接していれば、建築が可能になるよ。ただ⑥の道路は、建築のときに下の絵のような対応が必要なんだ。
みんなの家の前の道路もこの①～⑥のどれかになっているはずだよ！

計画敷地に接する道路が
2項道路

道路の中心から2m下がって建築することで、4mの道路となる。



法第42条第2項道路に接して建築する場合は、道路中心線から2m以上離れたところから建築計画を立てる必要があります。それは沿線の建て替えが進むたびに道路が広がって、結果的に4mの道が出来るという計画をもった建築基準法の趣旨によるものです。